

平成27年度  
郡山女子大学「生涯学習講座」開講のお知らせ

女性を対象とした郡山女子大学・  
郡山女子大学短期大学部の公開授業30講座  
[学ぶことは生涯の仕業―講座開講31年―]

■受付期間 ※窓口は平日のみとなります。  
前期・通年:3月23日(月)～3月31日(火)  
後 期:9月1日(火)～9月3日(木)  
受付時間 9:30～12:50、13:40～17:00

受講料 1単位につき 講義・演習の科目 8,000円  
実験・実習・実技の科目 15,000円～16,000円  
※ご希望の「講義」が1科目2単位のものであれば16,000円となります。  
※このほかに教科書代・材料費等がかかることがありますので、予めご了承ください。  
目安といたしましては、約5,000円～10,000円ぐらいいなります。  
※受講料の納付は授業開始後となります。  
※初めて受講される方は申し込みの際に手数料として、2,000円必要です。

郡山女子大学 教務部  
TEL(932)4848 / FAX(933)1957

渡部きぬ子さん



「生涯学習講座」は、年齢に関わりなく学びと向き合い、自分を磨く生涯学習。地域の方の学びのため、郡山女子大学では講座の一部を一般に開放しています。

年齢に関わりなく学びと向き合い、自分を磨く生涯学習。地域の方の学びのため、郡山女子大学では講座の一部を一般に開放しています。

日常生活・仕事でも  
学びの力になっています

「生涯学習講座」で自分磨きを

郡山女子大学

開講科目には、■通年(一年間)、■前期(4月より半年間)、■後期(9月より半年間)のものがあります。受講を希望される科目の開講時期については左記までお問い合わせください。なお、この時間と曜日は3月10日(火)現在のもです。変更になる場合がありますので、お申し込みの際にご確認ください。  
E-mail admin@koriyama-kgc.ac.jp

〈通年開講科目〉

油彩画Ⅰ 油彩画をとおして感性を磨く

油彩画(油絵)は西洋画の中心をなす優れた油彩絵具によるもので、自由な表現が可能。基礎的な技法の理解と研究から個人の能力を引き出し、表現力及び美術的感性を磨きます。(浅野 章教授)  
火 10:30～12:00(¥32,000)

〈前期開講科目〉

宗教学的人間論 人間にとっての宗教の意義

宗教とは何か。生活禅、アニメやマンガなどを題材に、学問対象としての宗教を考察します。(福島 寅太郎(何燕生)教授・博士(文学))  
金 10:30～12:00(¥16,000)

教育心理

心理学から教育を探る

よりよい教育を目指すために、心理学の観点から子どもを理解するための講義です。乳幼児期の発達、青年期の心の特徴、発達障害、教育相談など幅広く学びます。(垣花 真一郎准教授・博士(教育学))  
火 16:10～17:40(¥16,000)

情報コミュニケーション論

話し方を学ぶ

情報社会の中で、コミュニケーション能力の重要性が高まっています。良き人間関係を構築するために欠かせない適切で魅力的な言葉とは…コミュニケーションの基本を学びます。(奥秋 和夫非常勤講師)  
水 8:50～10:20(¥16,000)

応用栄養学Ⅱ

健康で豊かな食生活

近年、生活習慣病の予備軍が年々増加しています。健康寿命を延伸することを目的とし、加齢による人体機能の変化を理解し成人期・高齢期の食のあり方を考えます。(前年度受講生継続)(水野 時子准教授・管理栄養士)  
木 8:50～10:20(¥16,000)

美学

19世紀の西洋と東洋の美学

パリ万国博覧会出品作を歴史的にたどることによって、西洋と東洋が出合い、それぞれの美学が衝突し、やがて浸透し合った19世紀の状況を検討します。(齋藤 美保子教授)  
月 8:50～10:20(¥16,000)

被服デザイン論

「着る」とことと「装う」とこと

多様化する衣生活の中で、快適な衣生活を創造し、心地よく自分にあった衣服選びができるように、色も材質効果、カラージュ実習等を通して、「着る」から「装う」を考えます。(難波 めぐみ准教授)  
水 14:30～16:00(¥16,000)

比較宗教学

人類の精神史

「一つの宗教しか知らないものはそもそも宗教を知らない」。本講義はこのような比較宗教学の基本的なスタンスに基づき、「人間中心」の観点から諸宗教の起源や根拠を考察する。(福島 寅太郎(何燕生)教授・博士(文学))  
水 10:30～12:00(¥16,000)

彫刻Ⅰ

彫刻表現の基礎

塑像による頭像制作、テラコッタ作品制作、木彫作品制作などを通して、彫刻の基礎的方法、表現の取得を目指します。(黒沼 令講師)  
月 10:30～12:00(¥32,000)

生活化学

化学の基礎と日常

本教科は、日常と関連した現象についての考察を取り入れつつ、化学の基礎を学習する教科です。化学の基礎概念は、物質とは何かを理解し環境や健康を考える基礎となります。(関口 晋准教授・博士(農学))  
火 10:30～12:00(¥16,000)

衣生活文化論

着ることの意味を知る

衣服は人間存在と深く結びついた文化のひとつであり、様々な心情が託されてきました。本講座では、衣服の流行や制度と慣習等を取り上げ、衣服と人の関わりを探ります。(田辺 真弓教授)  
火 10:30～12:00(¥16,000)

生化学

科学の目でみた生命活動

生物は、代謝と呼ぶ化学反応で物質を変化させて生命活動を営んでいます。生命活動を化学の目で理解することを目指して、生体物質の役割やエネルギー代謝について学びます。(坂上 茂教授・農学博士)  
月 8:50～10:20(¥16,000)

日本文化史

江戸時代の西洋文化

16世紀戦国期南蛮人の渡来から19世紀明治期「文明開化」を対象に、医学・博物学・油彩画など、西洋文化を膨大に受容してきた日本人と日本文化の特徴を考えてみます。(阿部 俊夫准教授)  
月 12:50～14:20(¥16,000)

生理学

人体の機能を知る

人体を構成している組織や器官、たとえば血液、心臓、脳、腎臓などの正常な機能について体系的に学習します。生体のもつ恒常性(ホメオスタシス)の維持について理解を深めます。(紺野 信弘教授・博士(医学)・農学博士)  
木 10:30～12:00(¥16,000)

芸能論

日本の舞踊と世界の舞踊

日本の能楽、歌舞伎、あるいは世界のバレエのような身体芸術の最高峰や、個性的な民族的、民族的舞踊などをとおして、人間の身体文化と身体芸術の豊かさを考えます。(一柳 智子教授・博士(人文科学))  
木 10:30～12:00(¥16,000)

音楽鑑賞

音楽をより楽しむために

音楽鑑賞では古典から現代に至る様々な分野の音楽を鑑賞する事により、時代性や地域性、作者の人生観や個性、また作品の音楽史的な役割や意義について考えます。(岡部 富士夫教授)  
月 10:30～12:00(¥32,000)

臨床栄養学 「食」の持つ意義の深さを考える

長期の食生活や生活習慣のゆがみが、生活習慣病の発症に関与することが知られています。様々な疾病と栄養や食事との関係を理解し、その知識を疾病の予防、治療、増悪防止に活用できるよう解説します。(小林 澄枝講師・管理栄養士)  
水 10:30～12:00(¥16,000)

住生活概論

快適な住生活の創造

住まいの変遷や機能、今日的課題(デザイン・UD・環境等)について学習します。次に、スケールを意識しながら実際に建築製図を描き、住宅設計の基礎的知識を把握します。(阿部 恵利子講師・博士(家政学))  
月 12:50～14:20(¥16,000)

CGアートⅠ

コンピュータで造形表現

コンピュータによる視覚造形表現について演習形式で学習します。コンピュータとその周辺機器及びグラフィックソフトウェアの基本操作、表現技法を目指します。(小松 太志講師)  
火 8:50～10:20(¥15,000)

国際文化史

大学の西洋史概説入門編2

現代文明の共通要素として大きな意味をもつヨーロッパ文化(欧米文化)の近代化と普及について、中世後期～近現代にいたる過程を概観します。(桑野 聡准教授)  
金 14:30～16:00(¥16,000)

〈後期開講科目〉

保育の心理学Ⅰ 理論を見据えた保育とは

子どもの望ましい発達とは?望ましい自己概念形成に必要なアプローチとは?主にこの2点を、これから保育の現場に立つ学生と考えていきます。(折笠 国康講師)  
火 12:50～14:20(¥16,000)  
火 14:30～16:00 ※どちらかを選んでください。

応用栄養学Ⅰ

心身の健康と食生活

人の一生の各時期(ライフステージ)には、生理的に大きな違いがあります。各時期の科学的な栄養管理の知識を身につけ、妊娠期および成長期の適正な食生活について考えます。(水野 時子准教授・管理栄養士)  
水 14:30～16:00(¥16,000)

障がい児保育

子どもの心に寄り添った保育を目指して

昨今、保育現場には、さまざまな支援を必要とする子どもたちが存在しています。彼らの支援に有効な知識、技能を学びながら、目ざすべき保育の在り方について考えます。(小林 徹准教授・教育情報学博士)  
水 14:30～16:00(¥16,000)  
16:10～17:40 ※どちらかを選んでください。



国語表現法

文学の表現法を通して文章の骨格を学ぶ

文字使いは、各々の趣味と感受性の体系に基づきます。日本と英国の文学表現法に多く触れ文章の骨格を理解し、文章力を身につけます。(真船 均非常勤講師)  
月 8:50～10:20(¥32,000)  
水 14:30～16:00 ※週2回の実施です。

食品栄養学

食と健康の係わり

食品栄養学においては、健康なくらしをするために必要な食と栄養の基礎を学びます。食品中の主な栄養素とそれらを摂取したときの体内代謝を取り上げます。(藤本 健四郎教授・農学博士)  
火 10:30～12:00(¥16,000)

社会福祉概論

福祉国家の動向を見据える

目の前の社会がどのような方向に向かっていているのか、現在社会における社会福祉制度や政策の位置づけを確認し、福祉に対する公共的な規範意識を支える思想と哲学を学びます。(渡邊 英勝講師・社会福祉士)  
月 10:30～12:00(¥16,000)

民俗学Ⅰ

日本人らしさとは何か

個人ではない日本人が全体として創りあげてきた民俗(暮らし)を材料に日本人らしさを考えます。具体的には人生の節目に行われる人生儀礼(通過儀礼)を取り上げます。(野沢 謙治教授)  
火 8:50～10:20(¥16,000)

人間環境学

環境問題を知る

環境問題の原点である水俣病、放射線汚染、環境中での分解が難しい有機塩素系化合物ダイオキシンや水道水中のトリハロメタン、妊娠と医薬品についてサリドマイドを例とし講義します。(影山 志保講師・博士(家政学))  
水 8:50～10:20(¥16,000)

美学

19・20世紀の問題作

アングルの<グランドオダリスク>から、ダリのコラージュまで、歴史的に重要な19・20世紀の問題作を毎時間一点ずつ取り上げ、その美学に迫ります。(齋藤 美保子教授)  
水 10:30～12:00(¥16,000)

考古学Ⅰ

土の中に埋もれた歴史

考古学は人類の制作・使用したモノをもとに過去の人間の行動を研究する学問です。考古学の定義・目的・研究範囲・資料・研究方法について、考古学の基礎を学びます。(曾田 容弘准教授)  
木 8:50～10:20(¥16,000)